

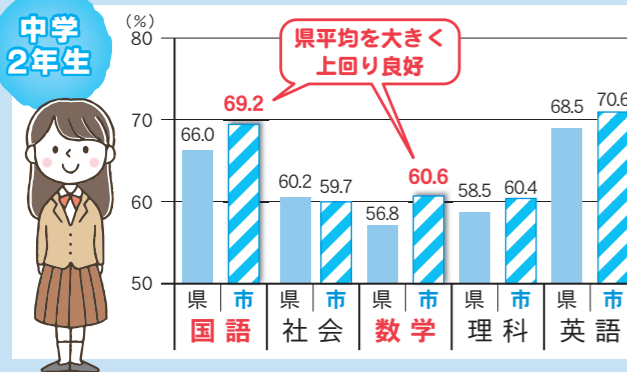
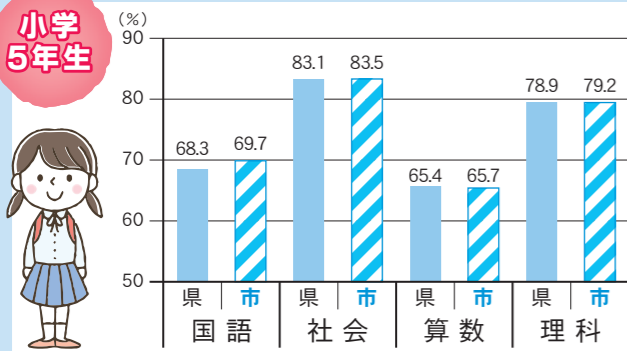
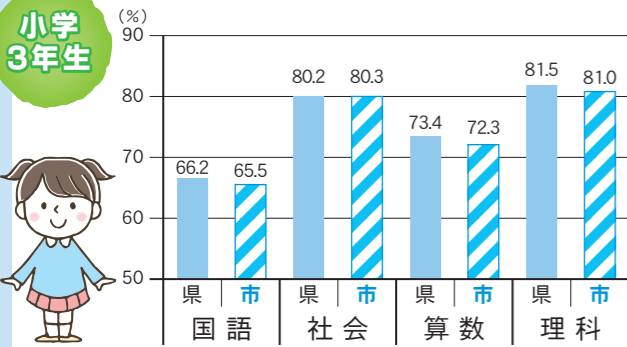
確かな学力を育てるために

平成30年度千葉市学力状況調査・意識調査の結果から

1. 学力状況調査

学力の習得状況はおおむね良好

小学3、5年では県平均とほぼ同程度の数値を示しています。中学2年では、国語科、数学科で県平均を大きく上回っており、学力の習得状況はおおむね良好であると言えます。今後は、さらに基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、考える力や学んだことを生かす力などを伸ばしていく必要があります。



各学校ではこのように取り組みます

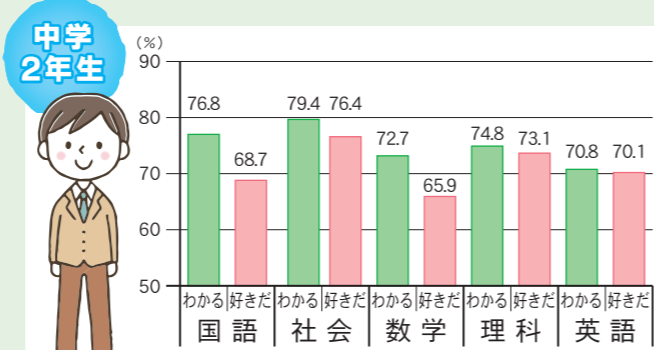
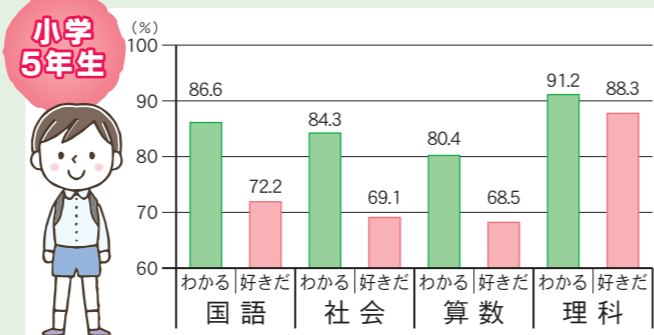
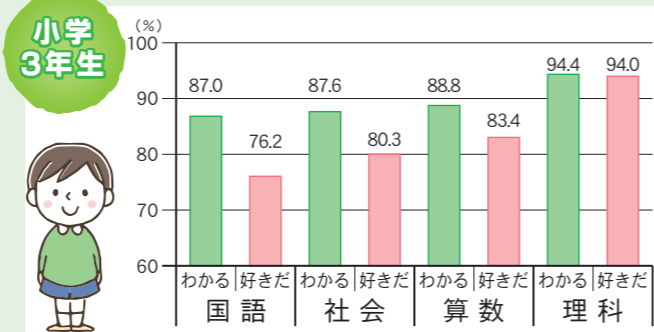
- 調査の結果から明らかになった成果や課題を踏まえて、「学力向上アクションプラン」の見直しを図り、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりを目指し、指導の工夫・改善を行っていきます。
- 問題解決的な学習や体験的な学習を積極的に行うことにより、学習に対する意欲を育みます。また、学習の中に対話的な活動を取り入れていくことで、自分の考えを表現したりお互いの考えを共有したりしながら、自分の考えを広げたり深めたりできる授業を推進していきます。

2. 学習に対する意識調査

「学習がわかる」と感じている割合が高い

「学習がわかる」と答えた割合はどの教科においても高いです。しかし、「学習が好きだ」と答えた割合は、「学習がわかる」に比べて低くなっています。学習意欲を向上させるために、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を感じられる授業づくりに努めていきます。

「学習がわかる」、「学習が好きだ」と肯定的に答えた割合



本市では、「夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども」の育成を目標に、確かな学力の育成にむけた「わかる授業」を推進しています。その一環として、毎年小学3・5年生、中学2年生を対象に、千葉市の学力状況調査・意識調査を実施し、結果を分析して、日々の学習指導の改善に生かしています。今回は、平成30年度調査結果から一部をご紹介します。

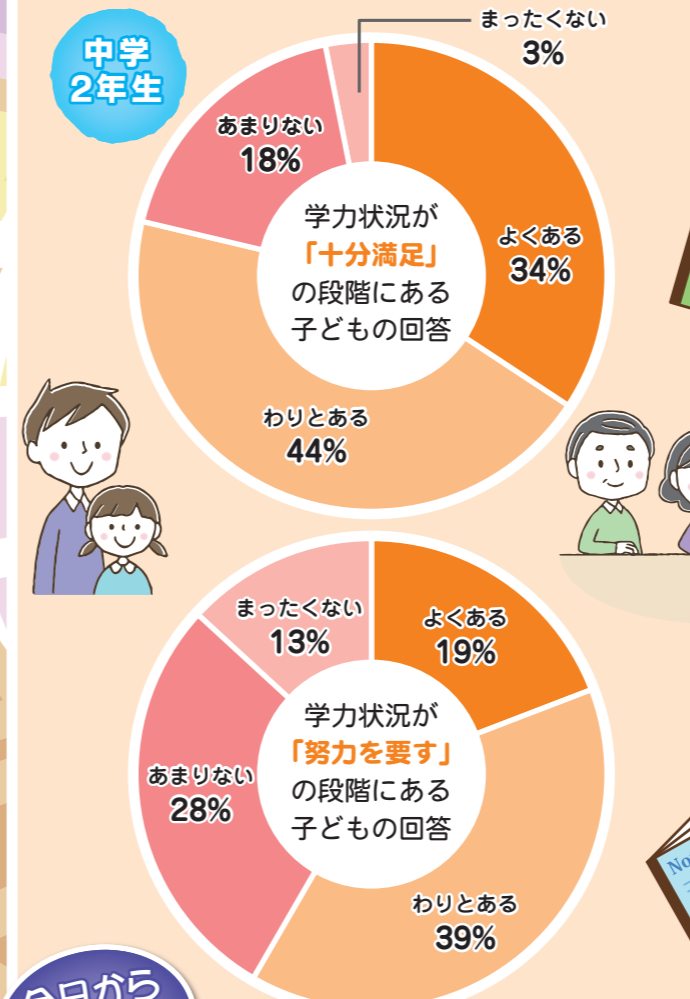
3. 家庭生活に関する意識調査

家族に褒められることと学力に関連有り

どの学年においても、学力状況が「十分満足」の段階にある子どもは、「家族からよく褒められたり認められたりしている」という割合が高くなっています。努力が認められ、家族に褒められることは、学習意欲の向上につながります。

質問 家族からよく褒められたり認められたりしていますか

*小学3年生と小学5年生についても、同様の傾向が見られます



今日から実践!

家庭では、「子どもを褒める」ことと「学習習慣の定着」を意識しましょう

- 机に向かう時間や遊ぶ時間などを決めて、時間を大切にする意識を育て、学習習慣の定着を図りましょう。
- 子どもがわからないことを一緒に考えるなど、コミュニケーションを取りながら学習意欲を高めていきましょう。
- 子どもが自分で計画したことを実行できるか見守り、できたときには褒めてあげましょう。

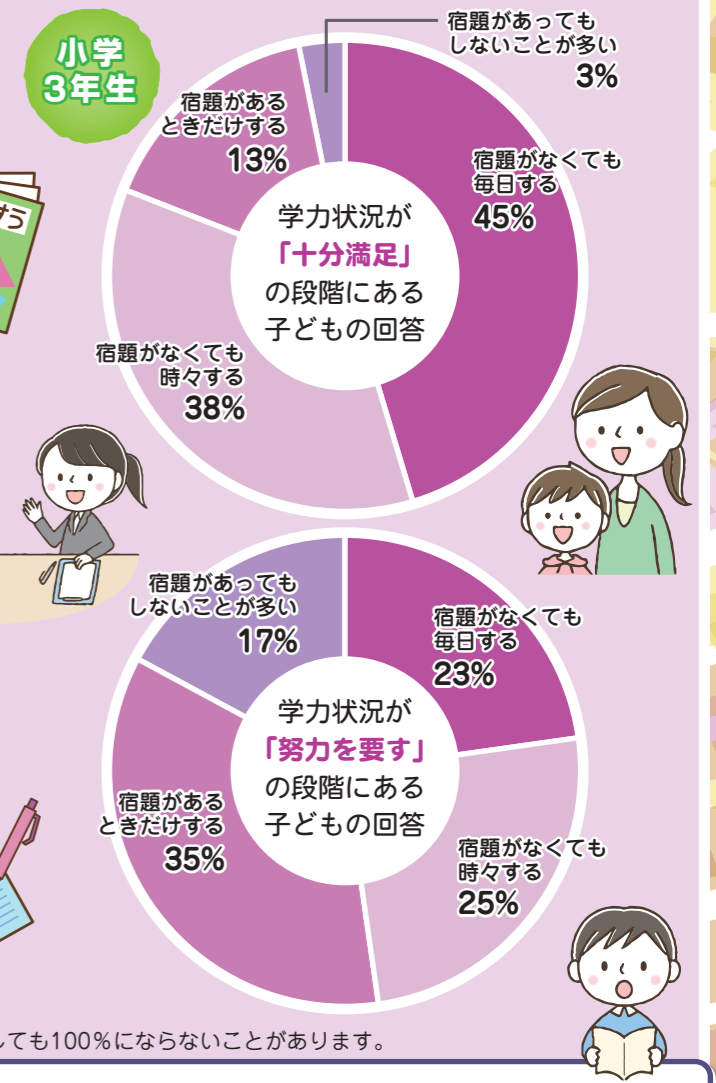
4. 家庭学習に関する意識調査

家庭での学習習慣と学力に関連有り

どの学年においても、学力状況が「十分満足」の段階にある子どもは、宿題がなくとも毎日学習をするという割合が高くなっています。家庭で学習する習慣を定着させることが、学力の向上につながります。

質問 家庭ではどのくらい学習していますか

*小学5年生と中学2年生についても、同様の傾向が見られます



*小数点以下を四捨五入しているため、合計しても100%にならないことがあります。

*令和元年度千葉市学力状況調査は、令和2年2～3月頃、小学3・5年生と中学2年生を対象に実施する予定です。